

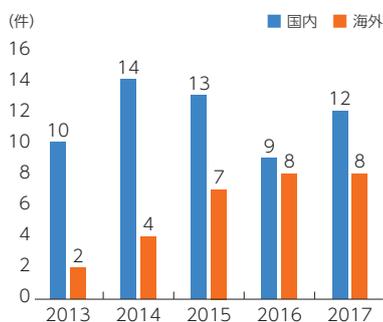
“完全ゼロ災害”の達成に向けて



労働災害発生状況

2017年(暦年)の労働災害発生状況は、国内では休業災害が増加しました。また、海外では休業災害は横ばいとなりました。

労働災害発生状況(休業災害)



第4次安全衛生中期活動指針

日軽金グループは、「安全は全てに優先する」という考えのもとに、災害撲滅に向けて「第4次安全衛生中期活動指針」を策定し、各事業所の実態に合わせた活動を推進しています。この指針では、取り組むべき課題を「現場力」、「管理力」、「技術力」、「健康力」の4つと、それらを

日軽金グループ 第4次安全衛生中期活動指針

中期活動指針	2017年	2018年	2019年
総合力UP	安全への「気づき」の高揚と事故未然防止活動の強化		
	重点事業所支援		
現場力UP	危険感受性向上活動と見過ごさない強い行動		
	現場から生まれる安全活動の推進		
管理力UP	監査実施(全事業所)、SMS認定グループ展開		
	SMS推進者、安全管理者社内育成、自社教育の展開		
技術力UP	設備安全基準のグループ展開		
	RAによるリスク低減(教育、実践支援)		
健康力UP	腰痛熱中症対策、受動喫煙防止対策の継続		
	メンタル対策、感染症対策の継続		

チームワークの安全活動

組み合わせた「総合力」に区分し、それぞれの強化・向上を図り、労働災害の防止に取り組んでいます。

「重点事業所支援」のために

日軽金グループでは、各事業所における安全レベル向上のため、特定の事業所に対して、重点的な支援活動を実施しています。日本軽金属ホールディングス(株)の安全衛生統括部門が月1~2回訪問し、リスクアセスメントなどの安全の教育・訓練を従業員とともにを行っています。教育の内容は、日常的な安全衛生活動の進め方や運営方法、労働安全衛生関係法令、設備の安全化など多岐にわたります。教育の対象者は、管理者、監督者、職場のリーダーなどで、階層別に教育を行っています。

また、休業災害や重大災害が発生した場合は、安全衛生統括部門が当該事業所を訪問し、現場検証と災害分析を実施したうえで再発防止策を策定します。1ヵ月後には対策実施の進捗確認を行い、半年後に再び訪問して対策が維持

されていることを確認します。また、グループ全体に対策を展開する必要があるかを検討し、必要に応じて各事業所へ指示を行っています。

「安全への気づきの高揚」のために

日軽金グループでは、グループ内の事業所で労働災害または労働災害になりそうだった事象が発生した際に、「災害速報」を発信しています。「災害速報」は全てのグループ会社に向けて発信されるしくみになっており、受信した事業所では速報の内容を現場の担当者まで展開して、類似災害の発生防止に努めています。また、その後は再発防止策の内容についても「災害速報」のしくみでグループ内に展開しています。

「事故未然防止活動の強化」のために

日軽金グループは、労働災害の発生防止の取組みのひとつとして、リスクアセスメント研修を行っています。研修は座学と実習を組み合わせる内容で、2017年は15回開催し324名が受講しました。

研修では、実際に発生した労働災害を題材にした教育も行っています。労働災害が発生する前の状況を想像し、潜在リスクを発見するトレーニングを繰り返し行うことで、災害が発生する前に危険を発見できる感性を育てています。



リスクアセスメント研修の様子